

衆議院 予算委員会 議録 第十八号

令和二年二月二十八日(金曜日) 午前九時一分開議

出席委員

委員長 棚橋 泰文君

理事 井野 俊郎君

理事 坂本 哲志君

理事 堀内 詔子君

理事 大串 博志君

理事 伊藤 涉君

あべ 俊子君

畦元 将吾君

石破 茂君

岩屋 毅君

衛藤征士郎君

小野寺五典君

鬼木 誠君

河村 建夫君

出畑 実君

根本 匠君

平沢 勝栄君

古屋 圭司君

村上誠一郎君

山本 幸三君

渡辺 博道君

小川 淳也君

岡本 充功君

玄葉光一郎君

辻元 清美君

馬淵 澄夫君

國重 徹君

藤野 保史君

杉本 和巳君

後藤 茂之君

葉梨 康弘君

山際大志郎君

渡辺 周君

秋本 真利君

伊藤 達也君

今村 雅弘君

うへの賢二郎君

小倉 将信君

奥野 信亮君

神山 佐市君

笹川 博義君

長尾 敬君

原田 義昭君

藤丸 敏君

宗清 皇一君

山口 壯君

山本 有二君

今井 雅人君

大西 健介君

川内 博史君

後藤 祐一君

本多 平直君

前原 誠司君

濱村 進君

宮本 徹君

安倍 晋三君

内閣総理大臣

財務大臣 (金融担当)

総務大臣

国務大臣 (マイナンバー制度担当)

法務大臣

外務大臣

文部科学大臣

厚生労働大臣

農林水産大臣

経済産業大臣

国務大臣 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構担当)

国土交通大臣

環境大臣

国務大臣 (原子力防災担当)

防衛大臣

国務大臣 (内閣官房長官)

国務大臣 (復興大臣)

国務大臣 (国家公安委員会委員長)

国務大臣 (防災担当)

国務大臣 (沖縄及び北方対策担当)

国務大臣 (消費者及び食品安全担当)

国務大臣 (少子化対策担当)

国務大臣 (海洋政策担当)

国務大臣 (クルジヤパン戦略担当)

国務大臣 (知的財産戦略担当)

国務大臣 (科学技術政策担当)

国務大臣 (宇宙政策担当)

国務大臣 (経済財政政策担当)

国務大臣 (規制改革担当)

国務大臣 (地方創生担当)

麻生 太郎君

高市 早苗君

森 まさこ君

茂木 敏充君

萩生田光一君

加藤 勝信君

江藤 拓君

梶山 弘志君

赤羽 一嘉君

小泉進次郎君

河野 太郎君

菅 義偉君

田中 和徳君

武田 良太君

衛藤 晟一君

竹本 直一君

西村 康稔君

北村 誠吾君

国務大臣 (東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当)

財務副大臣

政府特別補佐人 (内閣法制局長官)

政府参考人 (内閣官房内閣審議官)

政府参考人 (人事院事務総局給与局長)

政府参考人 (内閣府大臣官房長)

政府参考人 (出入国在留管理庁次長)

政府参考人 (外務省領事局長)

政府参考人 (厚生労働省健康局長)

政府参考人 (防衛省人事教育局長)

予算委員会専門員

橋本 聖子君

遠山 清彦君

近藤 正春君

大西 証史君

松尾恵美子君

大塚 幸寛君

高嶋 智光君

水嶋 光一君

宮崎 雅則君

岡 真臣君

鈴木 宏幸君

委員の異動

二月二十八日

辞任

衛藤征士郎君

原田 義昭君

古屋 圭司君

村上誠一郎君

山本 幸三君

同日

辞任

畦元 将吾君

出畑 実君

長尾 敬君

藤丸 敏君

補欠選任

宗清 皇一君

畦元 将吾君

長尾 敬君

出畑 実君

藤丸 敏君

補欠選任

原田 義昭君

村上誠一郎君

古屋 圭司君

山本 幸三君

本日の会議に付した案件

政府参考人出頭要求に関する件

令和二年度一般会計予算

令和二年度特別会計予算

令和二年度政府関係機関予算

○棚橋委員長 これより会議を開きます。

令和二年度一般会計予算、令和二年度特別会計予算、令和二年度政府関係機関予算、以上三案を一括して議題といたします。

この際、内閣総理大臣から発言を求められておりますので、これを許します。内閣総理大臣安倍晋三君。

○安倍内閣総理大臣 新型コロナウイルス感染症に関して、現在、北海道や千葉県市川市、大阪府、大阪市及び堺市など各地域において学校休業を行うなど、子供たちへの感染拡大を防止する努力がなされておりますが、ここの二週間が極めて重要な時期であります。

このため、政府としては、昨日、私、内閣総理大臣のもとで関係省庁が議論し、その後開催した新型コロナウイルス感染症対策本部において、全国全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について、来週三月二日から春休みに入るまで臨時休業を行うよう要請することを決定いたしました。

その際、卒業式などを終えていない学校もあることから、これを実施する場合には、感染防止のための措置を講じたり、必要最小限の人数に限って開催したりするなど、万全の対応をとっていただくこと、また、行政機関や民間企業等に対しては、引き続き、休みがとりやすくなる環境を整え

ても、順次、必要な対応を迅速に実行していくことが重要です。その上で、令和二年度予算を早期に成立させることで、必要な対策を切れ目なく実行していく必要があると考えます。

政府におかれては、今後の影響についてもしっかりと目配りし、状況に応じて機動的な経済への対策もちゅうちょなく実施していくべきことを申し添えさせていただきます。

以下、賛成する主な理由を述べます。
まず、本予算案では、消費税の増収分を活用し、高等教育の無償化や幼児教育、保育の無償化といった若い世代への社会保障の充実を図っており、評価できます。

また、最近の災害の激甚化への対応のため、国土強靱化、インフラ老朽化対策への予算については、国民の生活を守るため必要なものと評価できます。

次に、本予算案は、昨年十二月に策定された安心と成長の未来を拓く総合経済対策を着実に実行する予算となっています。

総合経済対策においては、十五カ月予算の考え方も、令和元年度の予備費、補正予算、そして本予算案の臨時特別の措置を組み合わせ、機動的かつ万全の対策を行い、民需主導の持続的な経済成長の実現につなげていくこととされています。

かかる本予算案の早期成立と着実な実施により、国民の生活の向上と安定を図っていくことができるかと評価できます。

以上、本予算案に賛成する理由を述べました。議員各位の御賛同を賜りますことを強くお願い申し上げます。

なお、立国社、共産提出の編成替え動議につきましては、見解を異にするため反対することを申し述べまして、私の賛成の討論とさせていただきます。(拍手)

○棚橋委員長 次に、岡本充功君。
○岡本(充)委員 私は、立憲民主・国民・社保・無所属フォーラムを代表し、ただいま議題となり

ました政府提出、令和二年度予算三案について反対、そして、立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム及び日本共産党提出の編成替えを求める動議に賛成の立場から討論を行います。

まず、委員会運営について一言。
答弁を求める者が出席せず、答弁を求められていない者が出席し、答弁をする委員会運営、これまでにない、採決で答弁者を決める運営は異常でした。

また、資料についても理事会に出てくることなく、理事会協議事項は積み上がるばかりであったことも大変残念でなりません。審議が深まることがなかった原因だと思っています。

また、時間こそ八十時間を超えたいと言われているかもしれませんが、国民が知りたいという思いに応えられなかったことも残念でなりません。

そんな中、新型コロナウイルス感染症が日本国内で広がる中、国民の命と健康を守るため、私たちは、与野党の枠を超えて、協力できることは協力していきたいと考えています。政府の対策をチェックし、先日も申入れを行いました。政府からの情報は小出しであり、正確性を欠いています。これでは協力をしなくてはなりません。

とりわけ、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号への対応は大きな失敗を繰り返しました。感染のリスクのある領域をゾーニングできていなかったり、クルーへの衛生管理の徹底の不備があったりと問題があっただけではなく、感染防御態勢が不備な政府職員が感染する始末で、お粗末としか言いようがありません。

また、高齢者が多いことがわかっていながら下船をさせず、長期間船内に閉じ込めたことは、死者を出す原因になったと考えています。

とりわけ、最終的な感染確認をしないまま下船させ、公共交通機関で帰宅をさせた判断は、市中に感染を振りまく結果となりました。

PCR検査体制がいつまでたっても脆弱であり、どこに感染者がいるかわからない今の公衆衛生政策は、今後の感染拡大及び重症者や死亡例の

増加につながるため、大きな懸念を抱いています。情報公開は民主主義の基盤です。安倍政権はこれまで情報公開に後ろ向きであり、こうした姿勢が国民の不安感を増幅させています。

また、首相官邸に近いとされる黒川検事長を檢察トップの検事総長に据えるためか、これまでと異なる政府見解、これに基づく閣議決定がなされ、整合性を無視して無理やり東京高等検察庁の黒川検事長の定年延長を行ったことも同様です。

法務大臣の答弁が二転三転し、国家公務員法と検察庁法の法解釈が二月になって変更されたことがあぶり出され、検察官の定年延長の政府統一見解が、黒川検事長の定年延長を決めた閣議決定が違法であったことが明らかになりました。

国会答弁を、ついついつかの間違えたなどと官僚に答弁させるなど、政権のうそにつき合わされる官僚がふびんでなりません。

さて、令和二年度予算は、過去最大の百二十七兆円もの歳出を計上する一方で、極めて楽観的な経済成長率を前提に、また、コロナウイルスの影響による税収の下振れも見込まれない中、税収を積みもり、さらに、平成三十年決算剰余金を特例的に使つてようやく公債発行を〇・一兆円だけ前年度より減っているように見せた、いわゆる粉飾予算であります。

歳出の中には、現職国会議員が逮捕されるといふ疑惑の渦中にあるIR事業を進めるためのカジノ管理委員会の経費や、効果が不確定なマイナンプーポイント還元など、首をかしげざるを得ない事業に多額の予算が計上されています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で経済の冷え込みが必至であるにもかかわらず、その対策は予備費で行うという前提になっ

ています。これからの状況を考えれば、予備費では対応できないのは明らかで、無責任であります。目玉政策も欠陥だらけであることが明らかとなった今、政府は、立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム及び日本共産党提出の編成替えに従い、予算を撤回して出直すべきだと思います。最後に、私たちは国民の側に立った政治のために尽力していくことをお誓いして、私の反対討論とさせていただきます。(拍手)

○棚橋委員長 次に、藤野保史君。

○藤野委員 私は、日本共産党を代表して、政府提出の二〇二〇年度一般会計予算外二案に反対、立憲・国民・社保・無所属フォーラム及び日本共産党共同提出の予算組み替え動議に賛成の討論を行います。

政府は、昨日の予算委員会終了後、全国の小中高校、特別支援学校に、来週から休校を要請すると発表しました。なぜ全国一律なのか、なぜ方針を変えたのか、子供を抱える親の仕事はどうなるのか、子供の学ぶ権利は保障されるのかなど、多くの問題に対する政府の現状認識と展望が具体的に示されていません。このため、現場をよく知る首長からも、医療関係者など社会を支えている職種の親はどうするのか、社会が崩壊しかねませんなどの懸念が表明されており、既に大きな混乱が広がっています。

総理は、さまざまな課題に対しては政府として責任を持つて対応すると述べていますが、政府予算案には新型コロナウイルス対策費は一円も計上されておらず、全く不十分です。予算を組み替えるなど、直ちに必要な財政措置を講じるべきです。

当委員会の審議を通じて、桜を見る会やカジノ汚職をめぐる疑惑はますます濃厚になりました。桜を見る会で総理が問われているのは、政治資金規正法、公職選挙法違反という重大な疑惑であり、この疑惑を晴らすためには、総理が書面で証拠を提出する以外にありません。それができない

ています。これからの状況を考えれば、予備費では対応できないのは明らかで、無責任であります。目玉政策も欠陥だらけであることが明らかとなった今、政府は、立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム及び日本共産党提出の編成替えに従い、予算を撤回して出直すべきだと思います。最後に、私たちは国民の側に立った政治のために尽力していくことをお誓いして、私の反対討論とさせていただきます。(拍手)

なら、総理も国会議員もやるべきです。

安倍政権は検察官の人事に介入する閣議決定を行いました。これは憲法で定められた三権分立も法治主義も壊す暴挙であり、撤回を強く求めます。

本予算案について述べます。

安倍政権は二回にわたり消費税を増税し、十三兆円もの負担を家計に押しつけました。この結果、一年のうち一カ月分の消費が吹き飛ぶなど、日本経済がかつて経験したことのない消費不況をもたらしめています。緊急に消費税率を5%に引き下げるなど、経済政策の抜本的転換を行うべきです。

公的・公立病院の統廃合の強引な推進に各地で怒りの声が上がっています。新型コロナウイルス対策で全ての医療機関の総力を挙げた対応が求められている今このときに、国が統廃合を強行するなど断じて許されません。年金、医療、介護、子育てなど、全世代を対象とした社会保障切捨て路線を転換すべきです。

軍事費は八年連続の増額で、過去最大の五兆三千百三十三億円に達しました。後年度負担は五・四兆円に達しています。米国製高価兵器の爆買いをやめ、辺野古米軍新基地の建設は中止すべきです。

暮らし応援の政治へ、税金の集め方、使い方を根本的に改めることを強く求めて、討論を終わります。(拍手)

○棚橋委員長 次に、杉本和巳君。

○杉本委員 日本維新の会の杉本和巳です。私は、日本維新の会・無所属の会を代表して、令和二年度予算三案と撤回のうえ編成替えを求める動議に対し、両案に反対の立場から討論いたします。

まず冒頭、申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策予算は十分でしょうか。見えない相手です。計算が難しいことは否定しません。しかし、的確かつ迅速な予算措置が必要で、基本的な価値を有する国として、

法案制定、特に新型コロナウイルス感染症対策の特措法制定を強く求めます。

本予算案において、マイナンバーカードを活用した官民共同利用型のキャッシュレス決済の基盤構築へ踏み出したことと、我が党が大阪で実現してきた教育無償化に合わせる形で、四月から高等教育の無償化がとられていることは評価しています。

しかし、予算案には以下の理由で反対です。第一の理由は、行政改革を進めないまま、消費税を上げ、国民の皆さんには負担を押しつけていることです。

復興特別所得税が令和十九年度まで負担していただいていることはお忘れではありませんか。令和二年度の国民負担率は、昭和四十五年以降最大の四四・六%の見込みとなっています。

日本維新の会は、身を切る改革を有言実行していません。しかし、民間企業の賃金が上がらない中、安倍政権下では国家公務員の給与を七年連続で上げてきました。民より官の待遇が先行することとは、あるべき姿ではありません。

第二の理由は、政府の予算説明に当初予算ベースの脚色があり、緻密さを欠くことです。

安倍総理の施政方針演説には、公債発行を八年連続で減額させるという誤解を招きやすい表現が盛り込まれていました。八年連続の減額は当初予算ベースです。補正予算を合算した実際の公債発行額は、平成二十八年度は前年度より多く、令和元年度も前年度より多くなることが見込まれています。しかも、令和元年度は、平成三十年度の決算剰余金の処理についての特例措置を行い、公債発行額を低く見せかけても、前年度より高くなり

ます。

施政方針演説では八年連続で公債発行を減少させたことと国民に説明をしながら、実際の公債発行額はふやすということとを国民から見えないところで行って来ました。政権には正しい財政状況の情報を発信することを強く求めます。

第三の理由は、財政健全化の実現への道筋が見

えないということです。

昨年十月の消費税率一〇%の引上げにより消費が大きく落ち込みました。昨年十一月二ヶ月間に、経済成長の速報の実質値は年率換算マイナス六・三%でした。これは、前回、消費税率八%へ引上げが行われたときの経済成長率であるマイナス七・四%と大差はありません。前回の増税と同じ轍を踏んでいます。

ことしの一―三ヶ月もマイナス成長となれば、景気後退が現実になります。予算案の説明では、令和元年度実質GDP成長率を〇・九%と見込んでいますが、前四半期が年率マイナス六・三%であれば、景気後退の中で、本年度見込みの達成は困難です。新型コロナウイルス、そして日本経済に悪影響を大きく与え始めました。財政健全化をどのように見据えるのかが不鮮明です。

以上、結びに当たり、日本維新の会は、身を切る改革、行政改革の推進、教育無償化の推進について引き続き努力してまいりますこととお約束して、令和二年度予算三案と編成替えを求める動議に対しての反対討論といたします。

ありがとうございました。

○棚橋委員長 これにて討論は終局いたしました。

○棚橋委員長 これより採決に入ります。

まず、馬淵澄夫君外一名提出の令和二年度予算三案につき撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決いたします。

〔賛成者起立〕

本動議に賛成の諸君の起立を求めます。

○棚橋委員長 起立少数。よって、馬淵澄夫君外一名提出の動議は否決されました。

〔賛成者起立〕

次に、令和二年度一般会計予算、令和二年度特別会計予算、令和二年度政府関係機関予算、以上三案を一括して採決いたします。

三案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

算三案は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

お諮りいたします。

ただいま議決いたしました令和二年度予算三案に関する委員会報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○棚橋委員長 御異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

〔報告書は附録に掲載〕

○棚橋委員長 本日は、これにて散会いたします。午前十一時五十九分散会

令和二年度一般会計予算、令和二年度特別会計予算及び令和二年度政府関係機関予算につき撤回のうえ編成替えを求めるの動議
令和二年二月二十八日
立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム
日本共産党

第一 令和二年度予算の編成替えを求める理由
中国に端を発した新型コロナウイルス関連肺炎の感染が拡大し、各地で多数の死者や患者が出ている。わが国でも国内感染例が増加し、死者が出るなど重大な局面を迎えた今、国民の生命と健康を守るために早急に対策を講じる必要がある。

また、政府提出の令和二年度予算は看過できない重大な問題を内包しており、予算の編成替えが必要である。
以下に編成替えを求める理由を具体的に説明する。

第一に、新型コロナウイルス感染症拡大により、国民の多くが不安を感じているが、令和二年度予算には対策費が計上されていない。
第二に、疑惑まみれのIR事業は凍結し、再考